

1つ目は、大津市や札幌市の事件に関わって、新冠町におけるいじめ防止の状況等について報告します。

8月、大津市の事件を受け、文部科学省による緊急調査が実施されましたが、町内各小中学校における調査結果では、各校とも、いじめは無いとの報告を受けております。

なお、7月に小学生の祖母を名乗る方から、孫のいじめに関する情報提供がありましたので、すぐさま各学校に連絡し、事実確認を行いました。が、該当する児童を特定できないうえ、いじめの事案についても確認できませんでした。

しかし、一層の未然防止を図るため、各担任から、児童に対する指導を再度徹底させたところです。

教育委員会としては、これまでも、学校関係者、警察、民生委員等で組織する児童生徒サポートチーム会議において、いじめ問題をはじめ、児童生徒の安全・安心、不登校等について協議し、関係機関の連携や情報共有を図っておりますが、いじめは、いつでもどこにでも起こり得るとの認識の下、さらなる連携を図りながら、未然防止に努めてまいります。

2つ目は、北海道中学校体育大会において、男子バレーボール、柔道女子個人戦などに出場しました。



▲全道大会出場を決めた新冠中学校野球部部員

3つ目は、学校プールの開設についてであります。

夏休み期間中においても子どもたちの居場所、スポーツ、体力の向上の場として学校プールを利用できるよう、4台のスクールバスを週3回

運行しました。

利用状況は、新冠小学校プールで493名（1日当たり21名）、朝日小学校プールで431名（1日当たり20名）となっております。

また、社会教育では、7月、10日間の日程で小学1年生30名を対象としたジュニア水泳教室を開催し、初歩の水泳指導を行うとともに、9月11日には、水泳フェスティバルを開催し、今年度の開設を終えたところで

4つ目は、朝日小学校におけるノロウイルスによる感染性胃腸炎の発生についてですが、6月27日に児童92名中16名が嘔吐や下痢の症状を訴え欠席したことから、学校医の国保診療所長に相談し、学校と教育委員会が連携し迅速に対応いたしました。

その内容は、食中毒の症状では無く、感染拡大の心配はないことから、学級閉鎖等の措置は必要ないとの判断が示されましたので、校内における手洗い、うがいの徹底を行ったところであります。

また、1施設から10名以上の欠席者が出ましたので、保健所による調査を受け、関係者の検便を行ったところ、ノロウイルスが確認されましたが、罹患した児童は、入院を要するような重篤な症状を訴える者もありません。

今回は会場をレ・コードパーク、本町多目的交流センターの2会場で実施し、延べ1767人が集い、健康に対する意識向上への啓発を行ったところで

5点目は郷土資料館の取組であります。

新冠町内における、エコミュージアムの石碑、ふるさとの木、新冠伝説の看板の設置場所を示したマップを資料館前に掲示し、これらの活用を発信したところです。

また、8月9日、資料館探検クラブ15名が、平取町貫別川において化石チャレンジを実施し、ふるさと学習として、地域の環境を学びました。



▲資料館探検クラブによる化石チャレンジの様子

6点目は図書プラザの取組であり

く2、3日の欠席で復帰しました。

認定こども園ド・レ・ミの教育・保育

地域に開かれた園経営を進めているド・レ・ミでは、7月1日、町民グラウンドを会場に2年目の運動会を開催しました。

多くの保護者や祖父母、地域の方々が見守る中、0歳児から5歳児まで全ての入園児が元気に活動し、新冠小学校を会場にした運動会を定着させることができました。

8月には、年長児のお泊まり会と併せ、花火・盆踊り大会を実施しましたが、地域自治会や、あいあい荘からも参加を頂き、多数の来場者のなか、地域との結びつきを深める行事ともなったところです。

また、昨年度から継続している昭和音楽大学によるリトミック教室では、学年毎の発達段階に応じた指導に加え、保育士に対する実技研修も行われ、レ・コード&音楽による町づくりへ向けた教育・保育活動の在り方を模索しているところです。

9月には、合唱団シング・シングの訪問があり、童謡・唱歌の合唱など、園児達との交流を行ったほか、恵寿荘やあいあい荘、おうるの郷での交流を行うなど、内にも外にも開かれ

ます。

7月から8月にかけて、ロンドンオリンピックの開催に合わせ、オリンピックに関連した図書やレコードの展示、夏休み工作づくり、ミニ七夕かざり、お楽しみ映画会等を実施しました。

終わりになりますが、実施4年目になります、教育委員会の業務評価の提出についてであります。

教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況等について、自己評価を行い、その評価内容に基づき各学校の学校評議員の方々や社会教育委員などから外部評価をいただき、議会へ評価報告書を提出させていただきます。

今後、この評価結果に基づき、4月からの活動の見直しも図って、その課題の解決に向けた改善を進めるとともに、教育委員会の活動の活性化につなげてまいりたいと思っております。

意見書

●森林・林業・木材産業の積極的な展開に関する意見書

以上の意見書案の採択、原案を可決しました。

社会教育の推進

1点目は社会教育委員の活動であります。

今年度、新たに12名を社会教育委員として委嘱いたしましたが、高畑委員長のリリーダシップのもと、青少年・郷土・文化の部会制を取り、少数の意見も反映できるよう懸案事項について協議しております。

2点目はレ・コード館の活動についてであります。

昭和音大のリトミックの実践指導を認定こども園ド・レ・ミ、放課後